令和４年１２月２２日からの暴風雪等に係る
北海道災害対策本部員会議　概要

北海道総務部危機対策局危機対策課

・日時　　令和４年（2022 年）１２月２５日（日）　１１：００～１１：４５
・場所　　北海道庁３階テレビ会議室
※ 全(総合)振興局及び東京事務所とテレビ会議を接続

１　開会（副本部長：浦本副知事）
これより、令和４年１２月２２日からの暴風雪等に係る第２回北海道災害対策本部員会議を開催する。

２　状況報告
（１）気象状況（札幌管区気象台：気象防災情報調整官）
＜気象状況について、資料に沿って説明＞

（２）これまでの対応状況等（危機管理監）
＜対応状況等について、資料に沿って説明＞

（３）停電状況等（北海道電力 社長）
＜停電状況等について、資料に沿って説明＞

（４）連絡本部各班からの報告
ア　保健福祉部（保健福祉部長）
・医療機関については、昨日の時点で全ての施設において、通電を確認し、通常通り運営が可能であることを確認していたが、今朝の停電を受け、改めて状況を確認しているところ。なお、広域災害救急医療情報システムは警戒モードを維持し、要支援体制の構築を継続している。福祉施設についても同様に、昨日全ての施設において、通電を確認していたが、今朝の停電を受け、改めて状況を確認しているところ。また、在宅での酸素濃縮機器を利用している方々については、保健所や民間事業者団体と連携の上、機器の電源や酸素ボンベの確保に支障がないことを確認済み。

イ　総合政策部（交通企画監）
・ＪＲの運行状況については、道北、道東方面を中心に本日８時３０分現在で、特急１４本、快速・普通列車４５本の計５９本が運休している状況。特に宗谷線、石北線については、ＪＲ北海道により懸命に除雪作業が行われているところだが、運行再開の目処は立っていない状況。
・航空機の状況については、道内空港では新千歳空港と紋別空港、女満別空港の３空港で計１０便が欠航している状況。

・バスの運行状況については、オホーツク管内の紋別、遠軽方面の都市間高速バスは昨日に引き続き運休しているほか、路線バスについて紋別市内において、停電に伴い運休が発生している状況。

・物流への影響について、各所で道路の通行止めが発生している影響もあり、道東方面を中心として配送の遅延が発生しており、状況把握に努めているところ。

ウ　農政部（農政部長）

＜農業関係の状況について、資料に沿って説明＞

エ　建設部（建設部長）

・道道の通行規制状況について、本日８時３０分現在で、道東を中心に１１路線１２区間を通行止めとしている。北海道電力から通行の許可要請のあった道道遠軽雄武線については、昨日未明から除雪作業を実施しており、現在、紋別側、遠軽側の両方向からの通行を可能な状態としている。

・海岸については、波浪、高潮警報が解除となった地域よりパトロールを実施しており、現在のところ被害は確認されていない。

・道道の通行止め路線については、引き続き除雪作業を行うとともに、通行の安全が確保できたところから、随時解除していくところ。

オ　オホーツク総合振興局（オホーツク総合振興局長）

＜オホーツク管内の状況について、資料に沿って説明＞

カ　宗谷総合振興局（宗谷総合振興局長）

＜宗谷管内の状況について、資料に沿って説明＞

（４）防災関係機関からの報告

ア　北海道開発局（災害対策管理官）

・本日から通行止めを行っていた上川、遠軽、北見地域の状況について今朝９時３０分に石北峠などの通行止めを解除したところ。また１０時３０分に旭川紋別自動車道の通行止めを解除し、現在は全区間通行可能となっている。１１時に十勝オホーツク自動車道の通行止めも解除し、こちらも全区間通行可能となっている。国道242号についても、１１時に通行止め解除としたところ。今後の解除の見込みについては、273号の三国峠を解除する方向で調整を進めている。残る国道333号の北見峠、国道273号の浮島峠については、鋭意作業中となっており、解除の見通しが立ち次第、周知を図っていくところ。

イ　ＪＲ北海道（常務取締役）

＜ＪＲの運行状況について、資料に沿って説明＞

ウ　北海道総合通信局（北海道総合通信局長）

＜携帯電話などの通信回線の状況について、資料に沿って説明＞

エ　北海道経済産業局（北海道経済産業局長）

・昨日午後に、現地に入っているリエゾンにより状況を確認し、対応を終了していたが、引き続きリエゾンを紋別に留め、情報収集を継続しているところ。今後も引き続き、関係各部との連携を図り対応にあたっていくところ。

オ　陸上自衛隊（陸上自衛隊北部方面総監部）

・昨日の災害派遣撤収要請を受け、同日１７時４５分に撤収を完了している。また、今朝発生した紋別市の停電については、紋別市役所に連絡員を派遣している。引き続き、関係機関と連携し対応にあたっていくところ。

３　本部長指示（本部長：鈴木知事）

・ただ今、22 日から続いた暴風雪や大雪に関し、札幌管区気象台や北海道電力を始め、関係機関や各部局から、現時点における対応状況などについてご説明いただいた。
現在、風や雪のピークは過ぎ、暴風雪・大雪に関する警報は全て解除されているが、大雪や強風などに対する注意が必要。また、根室地方では高潮警報が出ており、本日夕方まで警戒が必要。

・23 日午後に発生した紋別市周辺地域の大規模停電は、北海道電力のご尽力により、復旧が進んでいたところであるが、本日早朝、再び大規模停電が発生したところ。
さきほど北海道電力　藤井社長から、宗谷総合振興局においては本日１２時頃に復旧の見込みであり、オホーツク総合振興局においては、送電線は本日の昼頃、配電線は本日の１５時頃に復旧の見込みとのご報告があった。北海道電力におかれては、引き続き一刻も早い復旧に向け、全力を挙げ対応していただくようお願いするとともに、さきほど警戒についても怠ることなく対応していくとお話もあったので、その点についても、引き続きお願いする。

・各部局・関係振興局においても、人命最優先で、地元市町村の状況把握を強化し、応急対策に全力を挙げて取り組むよう改めてお願いする。

・22 日から降り続く湿った重い雪により、道路の通行止めや交通機関の運休が続いている。北海道開発局やＪＲ北海道など、関係機関の皆様には、除排雪作業などに大変なご苦労をいただいているが、早期復旧に向け、引き続き、対応をお願いする。

・また、停電が発生している地域で通信障害が発生し、現時点でも影響が出ている状況。北海道総合通信局におかれては、速やかな通信環境の改善に向けた対策をお願いする。

・陸上自衛隊を始め、北海道総合通信局などお集まりの関係機関の皆様におかれても、住民の皆様の安全・安心の確保に向け、より緊密に連携・協力いただくようお願いする。

・特に今回は、道、市町村、北電が結んだ災害協定など、北海道ブラックアウトや本年２月の札幌圏の教訓を踏まえた対策が機能し、復旧に大きく役立っているものと考えており、今後とも、関係機関の皆様と連携して対応していきたい。

・なお、道内は、これまでの暴風雪や大雪により、道内各地の積雪量も増え、落雪などによる人的被害も発生している。道民の皆様におかれても、引き続き、最新の気象情報や道路交通情報に注意いただくとともに、除雪作業中の事故や屋根からの落雪などに十分に警戒し、身の安全を確保する行動をとっていただくようお願いする。

４　閉会（副本部長：浦本副知事）

各本部員・防災関係機関の皆様におかれては、ただいまの本部長の指示について、必要な対応をお願いする。

以上をもって、北海道災害対策本部員会議を終了する。